

令和5年度 社会福祉法人福岡育児院 事業報告
< 法人運営について >

1 理事会開催状況

開催年月日	議事内容	出席者
令和5年5月24日	<ol style="list-style-type: none"> 1. 令和4年度事業報告及び決算報告、監事監査報告について 2. 令和4年度福岡市定期指導書面監査の指導事項及び改善状況等の報告について 3. 定時評議員会の招集について 4. 次期役員（理事・監事）候補者について 5. 定款及び評議員・役員報酬等支給基準の一部変更について 6. その他について 本体施設のユニット化について 理事長及び副理事長、業務執行理事による業務報告 	理事 6名 監事 2名
令和5年6月16日	<ol style="list-style-type: none"> 1. 理事長及び業務執行理事候補者の選任について 2. その他について 本体施設のユニット化について 評議員会決議事項の内容について 理事長及び副理事長、業務執行理事による業務報告 	理事 5名 監事 2名
令和5年8月17日	<ol style="list-style-type: none"> 1. 新築・改修工事に関する件について 設計監理委託業者の選定及び契約の締結 資金計画及び担保提供 工事契約締結方法及び指名業者の選定 予定価格及び入札 2. その他について 理事長及び副理事長、業務執行理事による業務報告 	理事 6名 監事 2名
令和5年11月28日	<ol style="list-style-type: none"> 1. 令和5年度第1次補正予算（案）について 2. 新築・改修工事 経過報告 3. 令和6年度措置児童の定員について 4. その他について 入退所状況 ショートステイ及び一時保護児童の状況 理事長及び副理事長、業務執行理事による業務報告 	理事 5名 監事 2名
令和6年3月28日	<ol style="list-style-type: none"> 1. 令和5年度第2次補正予算（案）について 2. 令和5年度新築・改修工事に係る資金収支状況 3. 令和6年度事業計画及び収支予算（案） 4. 就業規則及び経理規程の一部改正 5. その他について 入退所状況 ショートステイ及び一時保護児童の状況 理事長及び副理事長、業務執行理事による業務報告 	理事 6名 監事 2名
令和5年4月～ 令和6年3月	副理事長による毎月2～3回の巡回指導実施	

2 評議員会開催状況

開催年月日	議 事 内 容	出 席 者
令和5年6月16日	<ol style="list-style-type: none">1. 令和4年度事業報告・決算報告、監事監査報告について2. 社会福祉充実計画について3. 新役員（理事・監事）の選任について4. 定款の一部変更について3. その他について<ul style="list-style-type: none">・本体のオールユニット化について・令和5年度事業計画及び収支予算について・理事長及び副理事長、業務執行理事による業務報告	委員6名 理事長 副理事長 施設長

3 苦情解決委員会について

令和5年度

〈苦情受付について〉

- ・新館の工事の際に工事車輛が川沿いの道路に停車しており、近隣の方から通行が妨げられ困っているとのメールが届いた。

〈対応について〉

- ・工事関係者に伝え、車輛誘導の警備員の配置や工事車輛の停車を敷地内に変更した。

【委員より】

里親の委託率が上がってきているが、今後、福岡育児院の高機能化を進めて行くことで施設の利用価値を高めて欲しいと思う。

【施設長より】

今後は、新館のユニットや本館の改修工事を経て、多機能化を進めていく。また新館もオールユニット化になり、子どもたちの部屋は個室化となっており、より家庭的な養育を目指していく。

また、本院は立地の良さを活かして、子育て支援の拠点となるような事業を今後、展開していきたいと考えている。

令和5年度 社会福祉法人福岡育児院 事業報告

< 児童について >

1 こどもの権利擁護と自立支援

『養育理念』

こどもたちが「福岡育児院で育てられて良かった」と思える施設づくり

- 一、入所児童の権利擁護を基本理念として、こどもを中心に据えた養育の充実と治療的なケアも含め、ひとりのこどもに全職員で向き合い、社会的自立にいたるまでの援助・支援を行う。
- 一、基本的な生活習慣や節度ある態度の涵養と、自らを認める自尊感情や物事への感謝等人間関係の基礎を培う。
- 一、学習に励み、勤労を学び、困難にくじけない忍耐力とお互いに協力する精神を育てる。
- 一、創意工夫する態度を身につけ、自主的に又、合理的に物事を判断する力を養う。
- 一、身の回りの清潔に対する関心を高め、健康に留意する等の衛生観念を養うとともに、美しいものを愛し、豊かな心を育てる。

2 入所実績【定員62名（うち 地域小規模施設12名）】

入所定員	62名	延人員	744名
平均入所数	36名	延入所数	432名
入所率	58%		

3 入所状況（令和5年4月1日）

	男	女	計
幼児	3	0	3
小学生	4	11	15
中学生	2	4	6
高校生	5	6	11
その他	0	1	1
合計	14	22	35

4 入退所状況（令和6年3月31日）

（単位：名）

区分	月													
	4月初	4月末	5月末	6月末	7月末	8月末	9月末	10月末	11月末	12月末	1月末	2月末	3月末	
幼児	3	3	3	3	4	4	4	4	5	5	5	5	7	
小学生	15	15	15	16	14	14	14	14	15	15	15	15	16	
中学生	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	
高校生	11	11	10	10	10	10	10	10	10	9	9	9	9	
その他	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	
合計	36	36	35	36	35	35	35	35	36	35	35	35	38	
入所率	58%	58%	56%	58%	56%	56%	56%	56%	58%	56%	56%	56%	61%	
入所		0	0	1	1	0	0	0	2	0	0	0	3	
合計7名														
退所		0	1	0	2	0	0	0	1	1	0	0	6	
合計11名														

※退所児童に卒院生（高3）4名含む ※その他は措置延長児童

5 入所理由（令和5年4月1日）

措置理由	
父母の死亡	1

父母の行方不明	
父母の不和	
父母の拘禁	
父母の入院	
父母の就労	
父母の性格異常・精神障害	5
父母の虐待（放任）	7
（身体的）	8
（心理的）	3
（性的）	
不適切な養育	
養育拒否	4
破産等の経済的理由	2
不登校	
里親からの措置変更	2
その他	3
合 計	35

6 退所理由（令和6年3月31日）

		父のみ	母のみ	両親	その他	計
退 所	家庭引取り	1	2	2	1	6
	他施設へ				2	2
	進 学（大学・短大・専門 学校）		2			2
	就 職	1				1
	その他（行方不明）					
合 計		1	4	2	3	11

7 ショートステイ及び一時保護児童の状況（令和6年3月31日）

	令和5年度				令和4年度			
	ショートステイ		一時保護児童		ショートステイ		一時保護児童	
	人数	在籍日 数	人数	在籍日 数	人数	在籍日 数	人数	在籍日 数
4月	34	123	4	81	26	104	5	16
5月	40	168	5	53	23	97	3	87
6月	38	171	5	86	38	156	0	0
7月	54	216	7	108	33	139	2	38
8月	44	185	7	153	31	131	2	31
9月	50	188	7	116	33	160	1	1
10月	32	103	7	146	39	156	4	22
11月	67	253	4	69	38	186	3	51
12月	62	212	6	85	31	123	4	89
1月	49	177	4	50	35	157	5	109
2月	52	177	4	66	20	92	8	104
3月	50	224	2	30	15	52	2	62
計	572	2197	62	1043	347	1501	40	548

8 帰省状況

イ. 夏休み (8月12日～15日を中心に10日以内)

8月13日在籍数 35名

○里親 0名(0%) ○帰省児童8名(23%) ○居残児童27名(77%)

ロ. 正月 (12月30日～1月3日を中心に10日以内)

12月30日在籍数 35名

○里親 0名(0%) ○帰省児童6名(18%) ○居残児童29名(82%)

9 進路・進学状況

①高等学校卒業(男子1名・女子3名)

進学 香蘭ファッションデザイン専門学校

ファッションデザイン専攻科(男子1名)

福岡ベルエポック美容専門学校

ヘアメイク・美容師科(女子1名)

就職 株式会社シダー 介護職(女子1名)

その他 家庭引取り(女子1名)

②中学校卒業(男子2名・女子1名)

○箱崎清松中学校・多々良中学校卒業

【進学先】 私立博多高等学校(1名)

私立福岡有朋高等専修学校(1名)

私立純真高等学校(1名)

10 活動状況について

こども達は、部活動や文化面において日々、意欲的に取り組んでいます。

[部活動] 野球部・バレーボール部・ハンドボール部

[文化面] 児童文化奨励絵画展

11 年間行事

月	行事内容	月	行事内容
4	部屋移動 幼・小・中・高入学式 小学校歓迎遠足 小学校との交流会	11	那の津ライオンズクラブとの交流会 多々良小学校運動会 箱崎清松中学校合唱コンクール
5	小学校との交流会 中学校体育祭 中学校との交流会	12	七五三 櫛田神社参拝 多々良中央中学校2年修学旅行 幼・小・中・高終業式
6	松島小学校運動会		ラーメン駒屋キッチンカー招待
7	幼・小・中・高終業式		大掃除
8	幼・小・中・高始業式	1	幼・小・中・高始業式
9	食文化の会		遊技業協同組合絵画コンクール
10	箱崎清松中学校2年修学旅行 筥松小学校運動会 博多幼稚園運動会 地鎮祭 デジタルアート教室	2	私立高校入試・合格発表
		3	卒業式 公立高校入試・合格発表 幼・小・中・高修了式 卒院・進級お祝い会

1 職員配置実績

区 分	令和4年度 配置数	令和5年度 配置数	増 減	備考
施設長	1	1		
児童指導員	9	5	- 4	
保育士	17 (5)	20 (4)	+ 3	
里親支援専門相談員	1	1		
心理療法担当職員	2 (1)	2 (1)		
個別対応職員	1	1		
小規模グループケア	1	1		
家庭支援専門相談員	1	1		
地域小規模バックアップ職員	0	1	+ 1	
自立支援担当職員	0	1	+ 1	
栄養士	1	1		
調理員	6 (3)	5 (2)	- 1	
事務	2 (1)	2 (1)		
嘱託医	1 (1)	1 (1)		
パート職員（保育補助）	2 (2)	3 (3)	+ 1	
計	45 (1 3)	46 (1 2)	+ 1	

[備考] 1. 配置数の（ ）内は非常勤で、内数です。

2 職員研修参加実績

期日	研修名	期日	研修名
5.9 ～ 5.1 0	『新任職員研修Ⅰ』 社会人1年目研修	10.12	福岡市児童相談所 社会的養護施設等合同研修会
5.9 ～ 5.1 0	R I F C R 研修	10.13	福岡市児童福祉協議会 職員研修
5.30 ～ 5.3 1	『新任職員研修Ⅱ』 福祉業務従事2～3年目研修	10.22 ～ 10.23	ファミリーソーシャルワーク 研修
5.24	保健・衛生研修会	11.6～ 11.8	第76回全国児童養護施設 施設長研究協議会
6.13 ～ 6.1 5	第70回九州児童福祉施設 職員研究大会（佐賀大会）	11.15	「報・連・相」強化研修

6.16	SBI ブロック別 児童養護施設職員リーダー研修	11.24	インソース リーダーシップ研修
7.14	インソース レジリエンス研修	11.11 、 11.25	自閉症スペクトラム支援者養成研修
8.18	福岡児童虐待防止研究会	11.28 ～ 11.29	社会福祉士実習指導者講習会
9.12 9.14	第18回西日本児童養護施設 職員セミナー（京都大会）	1.20～ 1.22	SBI 児童養護施設職員研修 （西日本第20回）
9.14 ～ 9.15	福岡市社会福祉協議会 『中堅職員研修』	1.23	インソース コミュニケーション研修
9.27 ～ 9.28	子どもの虹情報研修センター 児童養護施設指導者研修	2.19～ 2.20	全国児童養護施設 中堅職員研修会

3 施設の運営状況

福岡育児院家庭の養護推進計画に基づき、施設の小規模化、多機能化及びオールユニット化を計画、令和5年9月末に着工し3月末に新館が完成、4月初旬より新館が稼働。

無事にオールユニット化を図ることができた。現在、本館の多機能化に向けた改修工事に着手している。

○児童の処遇面について

- ・不適切な対応に関する研修や日常的な児童の様相の変化についての報告・連絡・相談の徹底に努め、昨年度も不適切対応は発生しなかった。
- ・一時保護、ショートステイの入所が増加、特にショートステイは年間利用者数が延べ2300名を超える状況であったが、現場職員の努力もあり無事に乗り切ることができた。
- ・行き渋り、不登校傾向の児童については適宜、院長面談を実施し担当職員との綿密な協議を行い適切な対応を図り、無事に全児童の進級と4名の卒院児童を送り出すことができた。

○職員体制について

- ・働き方改革を念頭に置き、職員一人一人が働きやすい環境づくりに努めた。今後、本館の多機能化に向けての人材確保が急務である。

4 良質な職員の確保と育成

職場内研修において院内の課題解決に焦点を当てた研修を実施した。人材確保についてはオールユニット化に向けて職員の大量採用が必須のなか、九州管内の大学・専門学校へのリクルート活動を実施、また福岡県社会福祉協議会主催の就職フェアにも積極的に参加し、11名の職員を採用することができた。今後、多機能化に向けて必要な職員数を確保しなければならないこともあり、昨年度の活動を継続していく計画である。

5 施設運営の透明化の推進

(ア) 広報誌の発行

本院の広報誌「ふれあい」第17号を7月に発行し、保護者、地域等に配布した。

(イ) ホームページの充実

施設の運営、経営状況を透明化するため、財務諸表を公開。また苦情解決委員会の第三者委員の氏名・連絡先を公表し、施設に関する情報等の収集に活用している。随時、施設の情報提供を行い、育児院を地域にとって身近な存在として理解して頂けるように努める。